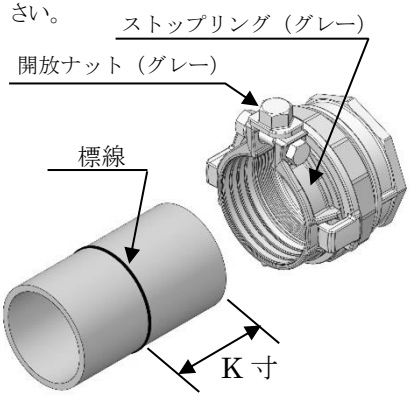
SKX®（中口径）施工手順（ポリエチレン(PE)管用）

① パイプ挿入量記入

パイプ挿入量（K 寸）を測り、**標線**を記入して下さい。

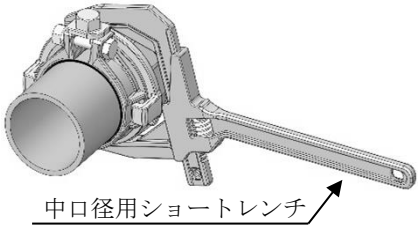
分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。



注 1)・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管の変形が大きい場合はストップリングに入るように管を矯正して下さい。
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

② キャップ本締め

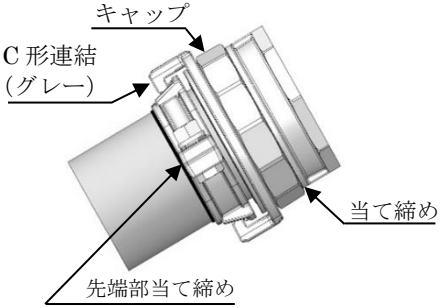
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを仮固定した後に中口径用ショートレンチで**キャップを当て締め**して下さい。

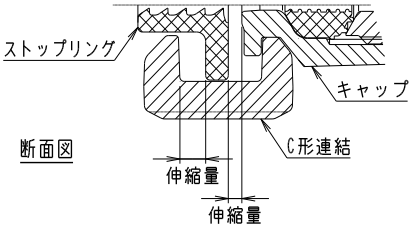


③ ストップリング本締め

C形連結を**管中心方向に押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい。**

両端に伸縮量を保った状態で、開放ナットを**「S」の方向（左回り）に 90° 回して**取り外し、**ストップリング先端部を当て締め**して下さい。





注 2) ストップリングは当て締め後、さらに**締め付けると破損などの不具合**が生じることがあります。

注 3) パイプとストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

④ 施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

管 呼び径	SR 呼び径 （グレー）	C 形連結 呼び径 （グレー）	本体・ キャップ 呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ （参考締付トルク N・m）		ストップリング （参考締付トルク N・m）		六角 対辺
65	P65	65	65	**80**	**当て締め**	(30)	**当て締め**	(10)	19
75	P75	75	75	**85**		(45)		(12)	19

※対応管種は**一般用ポリエチレン管**です。高密度ポリエチレン管または高圧用ポリエチレン管で使用される場合はお問い合わせ下さい。

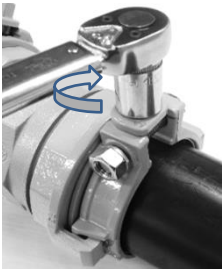
パイプ取り外し手順

① ストップリングを緩める

ストップリング締付ナットをボルトの先端位置まで緩めて下さい。

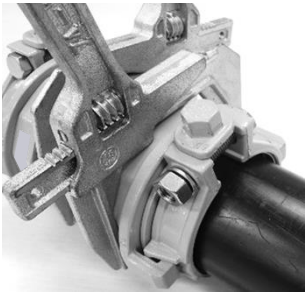
② 開放ナットの取り付け

開放ナットをストップリング締付部先端に取り付け、「O」の方向（右回り）に 90° 回して下さい。



③ キャップを緩める

キャップを分解しない程度まで緩めて下さい。



④ パイプの開放

パイプを外して下さい。

再施工手順

ストップリングに開放ナットを取り付けた状態で、
施工手順書に従って施工して下さい。

※ 再施工時の注意点

① ゴムパッキンの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ゴムパッキンを交換してください。

1、テフロンフィルムワッシャが破れている。

2、ゴムパッキンが破損している。

3、ゴムパッキンが永久変形・硬化している。

② ストップリング締付ボルト・ナットの状態確認

以下の項目に当てはまる場合は、ボルト・ナットを交換してください。

1、ネジ山がつぶれている。

2、ボルトが曲がっている。

3、ボルト・ナットの再利用は 5 回程度。

(株)川西水道機器
TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2023.06.30